



基本方針

当社は、「企業市民」としての役割を自責し、社会貢献活動を通して、トライボロジー研究の発展と地域社会への貢献に努めてまいります。

社会貢献

トライボロジー研究への貢献

大豊工業トライボロジー研究財団 (TTRF)

地域社会への貢献

少年少女発明クラブ支援、キッズエンジニア、障がい者交流ダーツ大会主催、ボランティア 等

トライボロジー研究への貢献

当社は、創業以来多くのトライボロジーの権威の方々に支えられてきた恩恵に対する感謝の形として、2000年10月に「大豊工業トライボロジー研究財団 (Taiho Kogyo Tribology Research Foundation、略称TTRF)」を設立し、全世界のトライボロジーの研究開発支援ならびに啓蒙に寄与し、発展に貢献してきました。(図1)

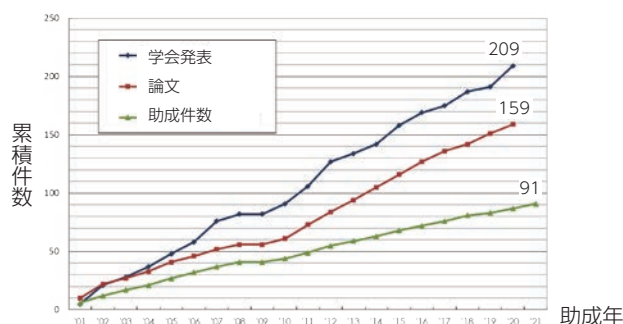


図1. 研究助成件数とその研究の成果

2022年4月14日にはTTRFと大豊工業共催で「第5回自動車のトライボロジーに関する国際シンポジウム」をオンライン開催しました。250名を超える参加者を迎え「100年に一度の大変革期を生き抜くトライボロジー材料の将来展望～高分子材料～」をテーマに、高度な情報交換と産学連携の強化につながる活発な討議を行うことができました。(図2)



図2. 第5回自動車のトライボロジーに関する国際シンポジウム

地域社会への貢献

主な社会貢献活動		
4～6月	・ 少年少女発明クラブ(通年)	・ 地域を花で飾ろう
	・ ひかりの丘活動	・ 農業ボランティア
7～9月	・ 障がい者交流ダーツ大会	・ キッズエンジニア
	・ 矢並湿地保全活動	・ 農業ボランティア
10～12月	・ みたけ町森林ボランティア	・ ひかりの丘活動
	・ 松竹梅寄せ植え鉢製作	・ むもん祭り
1～3月	・ 矢並湿地保全活動	・ 社内献血活動
	・ 桜(苗木)の植樹	
海外拠点での活動	・ 老人ホームへの手紙・お菓子・絵の寄付 (TCA) ・ 車いすの寄贈 (PTN) ・ 貧困層の学生に向けた寄贈 (TCT) ・ 地域祭での飲食や折り紙細工の提供 (TCE) 他	



みたけ町森林ボランティア

■少年少女発明クラブへの支援

- 1981年に設立された少年少女発明クラブは、当時社長である大塚氏が初代理事長として就任、現在は前社長の上田氏が理事長を務め、指導員(13名)を派遣しています。豊田市に住む小中学生(クラブ員数約1,000名)を対象とし、未来の技術者育成に貢献していきます。
- また、2017年には旧独身寮を改装し緑ヶ丘教室としてクラブに会場を提供しております。



豊田市少年少女発明クラブ